

# W-CDMA携帯端末のデザイン

山本光彦\*  
中原義仁\*  
束田智輝\*

## 要 旨

W-CDMA(Wideband-Code Division Multiple Access)サービスがドコモによって開始された。このサービスでは高速高品質通信が可能であり、携帯端末の使い方や、デザインに変化をもたらす。ここでは、W-CDMAサービスがユーザーに提供する将来イメージを想定し、新コンセプトの策定、及びそこでの端末デザインや新しいGUIへの取り組みについて紹介する。

ここでのデザイン上のポイントは次のとおりである。

### (1) ダブル画面を提案

より高度なサービス及び複数の同時アプリケーション実

施への対応を想定し、マルチメディアツールとしての進化形を提示

### (2) 分離型を提案

ながら操作、マルチタスクの実現性を検証し、コミュニケーションツールとしての進化形を提示

このデザインの成果は2001、2002年と継続してドイツCeBITにて動体モックを展示し、単なるスタイリング研究だけではない次世代を予感させる先進性を一歩具体化に踏み込んだ提案として注目された。



## 2001年CeBIT出展の次世代携帯電話コンセプトモック

斬新なスタイリングによって将来のユーザー生活シーンをイメージさせ、企業PRのみならず、社内事業部に対しても次世代の開発ゴールを提示する。